

人間生活工学 Original Paper セルフチェックリスト

2011/4/1

「人間生活工学」編集委員会

これは、Original Paper の審査にあたって審査員が特に注目するポイントの例です。すべて満たしていなければならないということではありませんが、投稿前のセルフチェックリストとして、論文作成の手引きとともに参考になさってください。

審査のポイント

1 人間生活工学との関係の深さ

| | |
|--|------------------------|
| | 人間生活工学に関する内容である |
| | 人間生活工学の応用実践的な内容である |
| | 人間生活工学の応用実践活動に資する内容である |

2 内容のオリジナリティ

| | |
|--|--------------------------------------|
| | 目的、仮説、主張、着眼などに新規性がある |
| | 問題設定、研究対象、対象事例、対象ユーザなどに新規性や有用性がある |
| | 適用した理論、研究法、実験法、調査法、データベースなどに新規性がある |
| | 得られた成果、発見、知見、提案、創作、デザインなどに新規性や有用性がある |

3 内容の正確性・明快性

| | |
|--|--|
| | 内容は論理的であり、公平な主張がなされている |
| | 適切な研究、開発の進め方がなされている |
| | 適切な実験、調査などの研究方法が用いられている |
| | 実験、調査、データベース利用などの研究方法は、追実験、追調査が出来る程度に明確に示されている |
| | 適切な規模の調査、実験を行っている |

| | |
|--|--------------------------------------|
| | 適切なデータ処理、結果表現がなされている |
| | 仮定、断定（事実）、推定（推察）、引用の各表現が明確に使い分けられている |
| | 論旨・主張は明確である |
| | 目的と結論の対応性がある |
| | 章立て、項立てなど、適切な論文スタイルとなっている |
| | 適切な題目である |
| | 適切な抄録内容である |
| | 適切なキーワードである（文献検索の検索語に適する） |
| | 適切な参考文献が用いられている |
| | 適切な英語表記（題目）である |
| | その他、研究、内容上の問題点はない |

4 体裁性

| | |
|--|---------------------------|
| | 明快な文章である |
| | 適切な用語の使い方がなされている |
| | 表現に倫理的問題は無い |
| | 誤字、脱字がない |
| | 特定企業や製品のPR記事と受け取られる内容ではない |
| | 参考文献の出典、引用関係が明確である |
| | 図表の体裁、表現形式は適切である |
| | その他の体裁、表現上の問題がない |